

診療担当医表

平成24年10月現在

	2診	3診	4診	5診
月	午前	竹本 範彦	藤永 泰宏	六浦 聖二
	午後	竹本 範彦	江川 徹	六浦 聖二
火	午前	竹本 範彦	門元 俊樹 第1・3休診	—
	午後	竹本 範彦	—	門元 俊樹
水	午前	竹本 範彦	藤永 泰宏	六浦 聖二
	午後	竹本 範彦	江川 徹	六浦 聖二
木	午前	竹本 範彦	江川 徹	三宅 昌文
	午後	竹本 範彦	藤永 泰宏 第1休診	濱田 佳寿 第3休診
金	午前	竹本 範彦	藤永 泰宏	濱田 佳寿
	午後	山中 崇	竹田 修司 第2・4休診	—
土	午前	竹本 範彦 第2・4休診	—	—
	午後	—	—	—

循環器内科	竹本 範彦・藤永 泰宏・竹田 修司
内科	六浦 聖二・門元 俊樹・三宅 昌文
リハビリテーション科	山中 崇
呼吸器内科	江口 誠一
消化器内科	江川 徹
内分泌内科・腎臓内科	濱田 佳寿

■診療時間
午前9時～午後5時30分
土曜日 午前中
■休診
第2・4土曜日
日曜日・祭日（急患はこの限りではありません）



当院の基本方針

地域住民の健康の増進を図り、信頼される病院を目指し地域医療に貢献いたします

1. 地域に根ざした医療

3. 患者様中心の医療

5. 健全な病院経営基盤の確立

2. 医療レベルの向上

4. リハビリテーション機能の充実

竹本病院 ご案内



交通案内

JR中村駅より

タクシー 約5分

徒歩 約15分

竹本病院 広報 第26号 2012年10月発行
〒787-0015 高知県四万十市右山 1973番地2
電話:0880-35-4151 FAX:0880-35-4155
E-mail: th-takemoto@poem.ocn.ne.jp 発行・編集:経営管理課



患者様の権利章典

当院では、ご利用の皆様へより良い医療をやさしく安全に提供し、納得のいく医療を受けていただけるよう、努力しています。そうした私達の医療活動の前提として、患者様には以下に掲げるような、「患者様の権利」があり、私達医療従事者にはそれを守り発展させる義務があると考えています。

あなたには、人格を持った個人として尊重される権利があります。

あなたには、必要かつ最善の医療を平等に受ける権利があります。

あなたには、十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方法などを自らの意思で選択する権利があります。

あなたには、あらゆる医療記録に記録されたご自分に関する情報の提供を求める権利があります。

あなたの医療上の個人情報、およびプライバシーは保護される権利があります。

第26号
竹本病院 広報紙

菜の花だより



心臓も動いていない、呼吸もしていない・・・。

目の前の人急に倒れた！

さて、あなたならどうしますか???

何としても助けようと思いませんか？どうやって助けようとするのか？自分に出来る事は何か？・・・それは、他の助けを呼び、応援が来るまで自分が心臓マッサージをしなければならないのです。なにも出来ずにオロオロする・・・ではなく、心臓マッサージやAEDの使い方を訓練しておくことで助けられる命があります。



H15年より救命士による救急講習を毎年開催



近年は一般市民への救急講習・AEDの使用方法も一般的になり、看護師のみならず医療に携わるスタッフへの救急講習も必要と感じ、救急に関する最新の情報および知識・技術等を学ぶため救命士に来てもらい講習を行っています。内容は、心臓マッサージ、AEDの使用方法、中堅看護師には気管内挿管介助のトレーニングも行っています。今年も、講習が始まって少ししてから、リハビリスタッフによる海猿ならぬリハ猿(?)がチーム結成。心臓マッサージ訓練は「♪地上の星」「♪アンパンマンのテーマ」などの美声も響き、大いに盛り上げてくれました。(心臓マッサージのリズムを覚え

るために、1分間100回の速さが必要なので、この歌がリズムに合うと言われており訓練時に使用する事があります。決してふざけているわけではありませんよ!) リハ猿!期待しています!!

院長先生にも加わって頂き、現場の本格的な技術を指導してもらいました。一方、挿管トレーニングの所では、看護部長が医師役になり怒声(?)が聞こえたり、Nsは慌てて物品を出したりと緊張感のある本番さながらの講習が行われていました。

患者様の急変時に少しでも慌てず、看護師やコメディカルスタッフが迅速で適切な対応をするためには、繰り返し訓練していくことが大切だと感じています。そのため今後も引き続き、救命士より最新の救急法を学んでいきたいと思っております。ちなみに、四万十消防署より毎年来ていただいております宮地救命士には毎年無理をお願いして来て頂き、高橋救命士や宮崎消防士にもお世話になっています。四万十消防署の方々、本当にありがとうございました。

外来看護師 黒川 恵美



<http://www.12.ocn.ne.jp/~takemoto>

詳しい情報については、ホームページをご覧ください。

災害用備蓄について

昨年三月十一日に起きた東日本大震災。それ以前から当院でも防災訓練や非常食の備蓄などの災害対策をしていましたが、震災以降、さらに防災に対する意識が変化したことを実感しています。

当院では南海大地震などの災害を想定して、飲料水や非常食等の備蓄に努め、入院患者さんはもとより、職員全体の飲食物を3日程度補えるようにしています。非常食の内容としては、調理員や看護師の人員が確保できない場合や、すべての熱源及び水道が停止することを想定し、非常食はそのまま手渡しでも食べられるものを多く採用しています。以前はカップラーメン等もありましたが、賞味期限が短いというデメリットがあり現在では備蓄品の項目から外されています。

非常食なんて小スペース、高カロリーでそのまま食べられるものでいいんじゃないかと、私自身思っていました。いざ自分がそのような状況に立たされた時の事を考えると、そんな味気無いものを食べたいと思わない。やっぱり暖かい物が食べたいですよね？そういう切迫した状況の中ではものすごく大事な事のように思えます。

カップラーメンは無くなりましたが、その代わりアルファ米わかめご飯が採用されました。このわかめご飯もカップラーメンと同じく、お湯をそそいで食べるタイプのもので中身にはスプーンも付属されており、個別に用意する必要がありません。賞味期限も約5年とカップラーメンより長く保存できます。ちなみに賞味期限が過ぎた備蓄品は職員で試食したりしています。

備蓄品を準備してくれた方には申し訳ないですが、この備蓄品が使用されることなくみんなで美味しく試食できる事を願っています。

経営管理課 杉本一等

	品名	個数・量	備考
食料品	水	264リッター	1人1日3リッター 132本(2リッター)
	非常用米飯	150個	アルファ米(わかめご飯)50×3
	乾パン	48個	48×1
	パン缶詰	72個	24×3
生活用品	毛布	30枚	
	タオル	30枚	
	カセットコンロ	3台	
	カセットコンロ用ガスボンベ	12本	
	やかん	3個	
	紙コップ・皿・箸	各200個	
	歯磨きブラシ	20個	
	歯磨き	2個	
	トイレトイペーパー	48個	
	簡易トイレ(災害用)	300回分	100×3
各種器材	ティッシュ・ウエットティッシュ	12個	ティッシュ10 ウエットティッシュ2
	防水シート	2枚	5.4m×5.4m
	ロープ	1本	20m
	懐中電灯	5個	
	乾電池	26個	単1・10個 単2・4個 単4・12個
	ロウソク	20本	
	ライター	4個	
	ヘルメット	4個	
	携帯ラジオ	1台	
	ハンドマイク	1個	
	発電機	2台	
	ガソリン携行容器	2個	20リッター×2
	ガソリン	40リッター	発電機用燃料
エンジンオイル	1リッター	発電機用	
石油ストーブ	2台		
灯油	18リッター	石油ストーブ用燃料	
ポリタンク	4個	内1個は灯油用	
延長コード	1個	30m	
その他	軍手	36枚	12×3
	ビニール袋(大、中、小)	540枚	大100 中200 小240
	マスク	100枚	
	懐中電灯・カイロ	30個	

※職員用備蓄品一覧



あさのふみつぐの 四万十釣行記

皆様はじめまして。今年の三月より1病棟で勤務させて頂いている浅野文継と申します。

ここ竹本病院の基本方針にもあるように、地域の方々の健康の増進を図り信頼される病院を目指し他のスタッフと共に地域医療に貢献させていただきたいと思っております。

私の出身地は香川県の高松市です。釣りが好きで昔から幡多郡に遠征してきておりましたが、何年も通っているうちに、自然豊かなこの土地の魅力にとりつかれ移住してしまいました。

故郷の瀬戸内海にもメバルやスズキといった魚が1年を通して遊んでくれます。しかし大型の魚(1メートルを超えるような魚)は釣れることはありませんでした。

ここ中村には雄大な自然が生きており、四万十川には河口部には幻の魚と呼ばれるアカメが生息しています。アカメは大型になるとミノウオやミノイオと言うように呼び名が変わると聞きました。この魚の知名度を全国的に広げたのは矢口孝夫氏の釣り吉三平(四万十川のアカメ編)で、今でも憧れを持って全国から狙いにきている釣り人も多くいるようです。

私も春先から秋口まではアカメを狙っています。今年も苦戦はしたものの運良く大型のアカメを手にすることができました。こんな魚が陸から釣れるなんて。(笑)毎年釣れるとは限りませんが嬉しい出会いとなりました。

仕事はまだまだ覚えることが沢山ありますが、毎日充実し楽しくこなせています。こんな私ですがよろしくお願いたします。



よさこいの踊り子さんたちが来てくれました

9月1日 よさこいの「バイタルフス&テクノクラフト」さん達が当院や近接施設に踊りを披露しに来てくれました。

「よさこいの良さを知ってもらいたい」「体の不自由な人にも楽しみになるものを持ってもらいたい」という情熱のもと各施設、医療機関で頻繁に活動中です。

このチームには当院のリハビリテーション科スタッフも6名参加しており、「患者さん達が少しでも楽しんでくれて、元気になるなら」と皆さん一生懸命踊ってくれていました。

当日はあいにくのお天気でしたが、玄関前に大勢の人が見に来てくれていました。

